

2007年4月5日

2005年度高等学校の授業料減免措置状況（文科省調）について（談話）

日本高等学校教職員組合

書記長 加門 憲文

(1) 文部科学省は4月5日、「都道府県立高等学校授業料減免状況（平成17年度）」を明らかにしました（別紙参照）。これによって、公立高校の修学にかかわる極めて深刻な実態の全体像が改めて明らかになっています。

日高教はこの10年来「修学実態調査」をおこなって、その実態の一端を告発し問題点と課題を明らかにして社会的問題にしてきました。今回の文科省の資料公開はそのことの切実さを裏書するものとなっています。

(2) 2005年度の高等学校の授業料減免者総数は231,493人で、その内訳は全日制が211,560人（9.3%）、定時制が17,620人（19.6%）、通信制が2,313人（2.5%）です。04年度と比較して全日制で8,289人、定時制で860人の増加となっています。

都道府県別の比較で、最も高い大阪の32,914人（26.4%）をはじめ鳥取2,705人（16.4%）、北海道16,736人（14.8%）、福岡11,138人（13.4%）です。逆に静岡の1,553人（2.1%）をはじめ福井（2.8%）、岐阜・愛媛（3.3%）となっています。大阪と静岡の地域差は最大で12倍です。

とりわけ定時制では広島1,051人（50.0%）、大阪2,013人（35.9%）をはじめ4人に1人が減免者数である県は8府県にもおよんでいます。

10年前の1996年時点の文科省調査では全日制102,411人（3.3%）、定時制5,947人（5.9%）、通信制1,304人（1.3%）であり、全日制・通信制では2倍、定時制では3倍に急増し極めて深刻な事態となっています。

授業料減免者が全体で10人に1人、定時制では5人に1人という深刻な実態は、高校生の学ぶ権利の保障・進路保障をはじめ高校教育がかかえる重要な課題となっています。

教育費の保護者負担の増加、「構造改革」による貧困と格差の拡大が高校生の学ぶ権利を直撃しています。

就学援助を受ける小・中学生が97万人（2000年）から134万人（2004年度）に急増していることを考えると、高校の授業料減免者は今後さらに増加し続けることは明らかです。

(3) 文科省の調査結果は「授業料減免措置状況」のみですが、いっそう深刻なのは授業料以外の教育費の保護者負担がきわめて大きくなっていることです。

日高教が 2006 年 9 月末時点で実施した「2006 年度高校生の修学保障に関するアンケート調査」(2007.2) では、教育費の保護者負担は、授業料以外に高校の初年度納入金として PTA 会費、生徒会費、修学旅行積立金などを含め平均で 31 万円をこえています。さらに通学費も大変大きな負担となっています。保護者にとっては 31 万円をこえる高校の初年度納入金はあまりにも大きな負担です。

NHK の「ワーキングプア」で報道されたようにダブルワークをしなければ生活できない母子家庭、トリプルワークで家族を支える父子家庭をはじめ 300 万以下の低所得者が 3 割というもとの、「お金がないから高校にいけない」と保護者として言えないと苦悩しながら教育費を捻出しています。

授業料をはじめ、こうした教育費に対する保護者負担の軽減が求められています。

(4) 日高教調査と今回の文科省調査の結果を合わせて見るならば世界に例のない教育費の保護者負担の大きさが高校生・青年の学ぶ権利を脅かしていることは重大です。

日高教は高校生や父母の生活実態をよりリアルにとらえ、学ぶ権利を保障する立場から「参加と共同の学校づくり」をすすめるとともに、国民的な運動で教育費の無償化をめざしながら、当面する教育費の父母負担の軽減措置を求める運動を呼びかけています。

希望に胸をふくらませて入学を待ち望んでいる高校生が、経済的理由で「高校を中退せざるをえない」、「通学定期券が買えない」など教育を受ける権利が脅かされてはなりません。

職場から高校生の声に耳を傾け、修学の困難をかかえる生徒の実態をリアルにつかみ、修学保障のとりくみをすすめましょう。地域から保護者や PTA のみなさん、自治体や地域のみなさんと協力して共同のとりくみをすすめましょう。

そして授業料の引き下げ、授業料減免基準の改善・充実、奨学金制度の充実・改善、通学費の補助制度を確立させましょう。

教育費の保護者負担の軽減・無償化は、憲法 26 条が明記する教育を受ける権利を保障することです。

職場・地域から、高校生の「学ぶ権利」を脅かしている貧困と格差の拡大をもたらす「構造改革」に反対する共同のたたかいを広げ、「修学と進路を保障し高校生・青年の未来をひらく」2つの大運動を旺盛に展開しましょう。

以上